

萩にあしあと残そよ

「秋の休日は、健康体を活かして。」



昔の宿場で出会った菊花たち。

「日々の暮らし」

師走に入ると、日の出時刻が七時過ぎになります。起き出す頃はまだ真っ暗で、些細なことですが萩暮らしを実感します。そろそろ冬用タイヤに交換しなければ…。

さて、先月後半から出勤が週二日に増えました。ペースはゆっくりですが、得意先や新規取引先へ連絡や訪問をしています。しかし、新型コロナ感染が再燃しているので、まだ先は見通せないです。

日々の暮らしは順調です。

休日（週末）に予定を立てて登山やイベントなどに出かけています。今の環境でできることに積極的に取り組む姿勢がとても強くなりました。



男三瓶山頂
標高 1,126m

三瓶は男三瓶を主峰に、子三瓶、女三瓶、孫三瓶などが環状に並ぶ鐘状火山群で、ぐるりとお鉢めぐりすることができます。来春に、ぜひチャレンジしようと思っています。今回は久々に山中で一人、山に抱かれる心地よさを感じた登山でした。

登山に入ると、日の出時刻が七時過ぎになります。起き出す頃はまだ真っ暗で、些細なことですが萩暮らしを実感します。そろそろ冬用タイヤに交換しなければ…。

師走に入ると、日の出時刻が七時過ぎになります。起き出す頃はまだ真っ暗で、些細なことですが萩暮らしを実感します。そろそろ冬用タイヤに交換しなければ…。

◆霧の三瓶山に登頂◆
登山にも少々興味があり、萩を拠点に山登りをしたいと思っています。このほど、島根県大田市の三瓶山（さんべさん）を目指しました。あいにく小雨と霧という条件でしたので、カッパを着て、眺望はお預けでした。

三瓶は男三瓶を主峰に、子三瓶、女三瓶、孫三瓶などが環状に並ぶ鐘状火山群で、ぐるりとお鉢めぐりすることができます。来春に、ぜひチャレンジしようと思っています。今回は久々に山中で一人、山に抱かれる心地よさを感じた登山でした。

◆十種ヶ峰の視界良好◆



南東方向から見た十種ヶ峰。

◆萩城跡御城印を入手◆

御朱印ならぬ御城印が流れているそうで、このほど萩城跡においても販売が始まりました。残念ながら発売当日には行けませんでしたが、その後しっかりと入手しました。

萩城は、関ヶ原の戦いに敗

れた毛利輝元公が、領地を八

か国から二か国に減らされ

たことにより築いた城です。輝

元公は慶長九年（一六〇四）

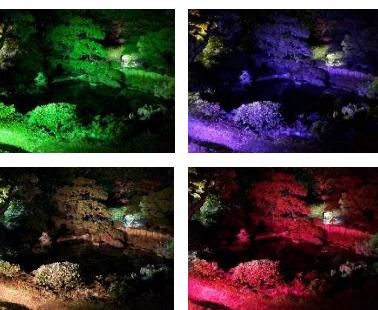
に入城しました。その日にち

なみ、御城印は一月一日

に発売となりました。

◆花南理の庭ライトアップ◆

仕事がきっかけで親しくなっている馬屋原（まやはら）さんがご自宅で営む茶寮「花南理（はななり）の庭」は、見事な日本庭園が魅力のひとつです。そこに、青・赤・緑色のカラーライトが設置され、このほど庭園ライトアップがお披露目されました。



左下が一般的なライトアップ。

◆日本酒のイベント◆

萩市と阿武町の六軒の酒蔵の日本酒の飲み比べイベント「やつぱ萩の地酒でNigh t！」が、田町商店街のアーケード下で開催されました。

今年で三回目です。

昨年の記憶もあつて楽しみにしていたので、無事開催されてほっとしました。もちろん、受付での検温や、渡されたフェイスシールドの着用など、時世ならではのルールはありましたが、もともと屋外楽しむことができました。

馬屋原さんは、茶寮を改装して一日一組の民泊を始めるため、昨年クラウドファンディングでの資金集めに成功しましたが、直後に新型コロナの騒ぎとなり、工事は未着手の状態です。応援者の一人として、このライトアップが生かせる日が来ることを待ち望んでいます。ちなみに、敷地内のミニ美術館には驚くお宝も展示されています。

